

報道関係者各位

柏の葉アーバンデザインセンター
三井不動産株式会社

治水目的の調整池を自然共生型の親水空間に大規模改修 柏の葉イノベーションキャンパス・「アクアテラス」の一般供用を開始

～「交流空間」創出で街の更なる活性化を図り、先駆的な環境整備で国内外企業の誘致を加速～

柏の葉アーバンデザインセンター(以下「UDCK」)および三井不動産株式会社は、柏の葉スマートシティの次期開発エリア「柏の葉イノベーションキャンパス(以下「イノベーションキャンパス」)」の中核ゾーンとなる「アクアテラス」の一般供用を本日11月22日(火)から開始します。

「アクアテラス」は、雨水流出抑制を目的に造られた「2号調整池」を大規模改修し、親水空間化したもので、地域住民や就業者の「交流空間」を創出することで、街のさらなる活性化を図るとともに、水辺を活かした先駆的な環境整備で街の価値を向上させることで、国内外の企業や研究機関の誘致を加速し、国際学術研究都市・次世代環境都市の実現を目指します。

次期開発エリアにおける中核ゾーン「アクアテラス」

～次期開発エリア「イノベーションキャンパス」～

柏の葉エリアは、千葉県・柏市・千葉大学・東京大学・UR都市機構・三井不動産が共同策定した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づき、国際学術研究都市・次世代環境都市を目指す街づくりが進められています。同構想では、先行開発エリアである「駅前街区」に対し、その隣接する北側一帯を次期開発エリア「イノベーションキャンパス(複合用途型産業創出地区)」と位置づけ、公・民・学連携による開発が進行しています。「イノベーションキャンパス」では、居住機能に加え、業務・研究機能や商業機能を同エリアに集約させ、職住が近接し、街の賑わいを生む多機能コンパクトな街を目指しています。そして、その中で中核的な役割を果たすのが、今回供用を開始する「アクアテラス」です。

～“治水”に“交流”の機能が新たに加わった調整池～

「アクアテラス」は、「イノベーションキャンパス」の中心に位置する「2号調整池」を、自然共生型の親水空間として整備したゾーンです。「2号調整池」は、千葉県施行の柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業において、集中豪雨などに伴う急激な雨水流出の抑制を目的として整備されたもので、人の立ち入れない空間となっていました。地域の価値向上のため、UDCKと三井不動産などが中心となり、大規模な改修を行いました。また、アクアテラスの管理は、周辺地権者によって組織された協議会による費用負担のもと、UDCKが柏市と協定を締結して行うこととなっており、公・民・学連携の大きな成果だと言えます。調整池をパブリックなオープンスペースとして整備することで、周辺で働く人や住む人にとっての憩いと交流の空間が生まれ、今までにない「新しい街のライフスタイル(働き方・暮らし方)」が可能となります。また、賑わいのある街や自然豊かな街が実現することで街の魅力が高まり、国内はもとより海外の企業や研究機関などの関心も高まることを期待しています。



<西側から「アクアテラス」を望む全景>

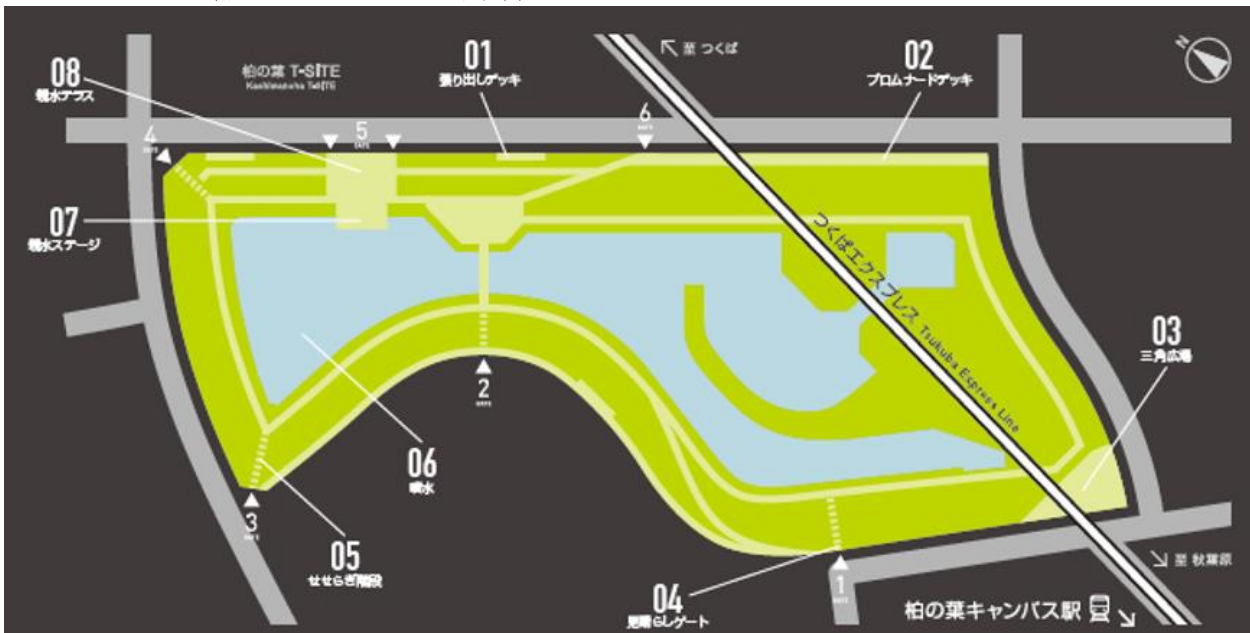
賑わいが生み出される「アクアテラス」の仕掛け

～ 周辺に大きな賑わいを生む「柏の葉 T-SITE」がオープン ～

「アクアテラス」では、人々の滞留や交流を生み出すための様々なアプローチが行われています。今回の整備で新たに6ヵ所の階段・スロープを設けており、利用者は街のさまざまな方向から水辺近くまで降りることができます。また、「アクアテラス」外周部には歩行空間が整備されており、見晴らしの良い各所にはベンチやデッキを設置しているため、利用者は“お弁当を広げてのランチ”や“気分転換のためのウォーキング”、“オープンエアでの読書”など、「アクアテラス」を通じ新たなライフスタイルが実現できます。また、「三角広場」や「親水テラス」など賑わいを創出するスペースも随所に設けており、地域住民や周辺企業が主催するイベントや各種のアクティビティの開催も予定されています。

そして「交流空間」としての機能の強化を実現する複合商業施設「柏の葉 T-SITE」が、「アクアテラス」の東岸一帯に2017年春にオープンします。同施設は、カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社が手掛けるライフスタイル提案型施設で、書店・カフェ・各種ショップなど魅力的な場が生まれることで、就業者、地域住民をはじめ大学関係者などが集まり交流するコミュニティ拠点としての一翼を担います。

アクアテラス 賑わいと憩いを生み出すポイント



01. 張り出しデッキ

バーカウンター、バースツール、縁台からアクアテラスの眺望を楽しむことのできるマルチスペース。3本のケヤキが生み出す緑陰がくつろぎの空間をつくります。



02. プロムナードデッキ

ケヤキの列植と歩道側・デッキ側双方から利用できるファニチャー（ベンチ）を配置し、思い思いの使い方でご利用いただけます。



03. 三角広場

柏の葉キャンパス駅からの歩行ルート上の玄関口。イノベーションキャンパスゾーンを往来する動線が交わり、多様なアクティビティ利用を創出します。



04. 見晴らしゲート

ゲートスクエアおよび、パークシティ柏の葉キャンパス ザ・ゲートタワー/パークシティ柏の葉キャンパス 二番街からの動線のゲート。スロープで親水空間へと誘います。



05. せせらぎ階段

井戸水からポンプアップしている水の流れが、視覚・聴覚両面での「癒し」効果を生み出します。



06. 水質浄化施設(噴水)

水質浄化施設としての機能も持つ噴水が、華やかな景観を演出します。



07. 親水ステージ

水面間際まで親水空間を楽しめるステージ。今後様々なイベントで活用予定です。



08. 親水テラス

階段の両サイドに傾斜を利用したくつろぎベンチを設置。愛犬用のリードフックも配置し、様々な利用シーンに対応します。



夜間照明

池の周りの通路にライン照明を設置。都会的な夜景を生み出すとともに夜間の安全性にも配慮しています。



< 「張り出しデッキ」からの風景 ～バースツールや縁台に腰掛けゆったりとしたランチ～ >



< 「親水テラス」からの風景 ～柏の葉 T-SITE を背に水辺に至る階段で思い思いの時間～ >

親水空間化した「アクアテラス(2号調整池)」改修前後



前 → 後



■ 「アクアテラス」、「柏の葉イノベーションキャンパス」、「柏の葉 T-SITE (予定地)」位置図 (航空写真)



※2015年9月撮影 (アクアテラス施工前)

■ 柏の葉キャンパス位置図



■ 柏の葉アーバンデザインセンター(以下「UDCK」)について

柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK) は、2006年10月に柏の葉地域に拠点を置くまちづくり組織として発足し、行政、民間企業、大学、市民等まちづくりに関わる様々な主体の連携プラットフォーム (任意団体) として活動してきました。一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンターは、従来のUDCKの取り組みを一層推進するため、専門性のある事業展開を担い、任意団体をサポートする事業実行部門として、2011年12月に設立しました。

■ 三井不動産の2020年に向けたスローガン



一人ひとりが変化そのものになるという意味の「BE THE CHANGE」のロゴは、世界を変える「風」をモチーフにデザインされました。三井不動産のコーポレートカラーの二色で塗り分けられたエレメントは、「風に乗って飛び立つ鳥」をイメージしています。2020年とその先に向けて「人が変われば、世界は変わる」という思いから、掲げたスローガンです。